

流通とSC・私の視点

2011年10月6日

視点(1454)

資本主義経済の終焉と経済の3つの革命!!

21世紀になって資本主義経済の根源が崩れつつあります。アメリカのリーマンショック、ギリシア危機から派生したヨーロッパの金融危機、これらはすべて1980年代から起こったバーチャル経済による資本主義経済の終焉、もっと正確に言えばアメリカ型経済の終焉を意味します。17世紀から18世紀にイギリス、ドイツで起こった産業革命が資本主義経済を形成しましたが、この資本主義経済のシステムも第3回の革命(大きな基軸の変化)を起こしています。過去・現在・未来の資本主義経済の変遷を時系列と基軸ノウハウにより「戦略表」化すると次の通りです(六車流：流通理論)。

		内 容
18 〜 19 世紀 経済	産業革命 (生産技術革命)	<p>< 第1次資本主義 (古典・資本主義) ></p> <p>生産革命(大量生産システム) → オートメーションシステム</p> <p>資本家 } 敵対関係 → 第1次階級社会(貧富格差社会) 労働者 }</p> <p>消費先 = 植民地の国民(帝国主義) + 貧困労働者・農民</p> <p>プレ・モダン消費 = モノは大量生産されているが、消費者の購買力が弱い</p> <p>人間の移動 = 地方からの出稼ぎ(地方に定着し、都会で働く)</p> <p>交通(移動手段) = 鉄道・バス等(広域かつパブリック交通手段)</p> <p>負(マイナス)効果 = 搾取 + 地球環境の破壊 + 帝国主義戦争</p>
20 世紀 型 経済	生活革命 (販売技術革命)	<p>< 第2次資本主義 (修正・資本主義) ></p> <p>消費革命(大量消費システム) → ショッピングセンターシステム</p> <p>経営者 } 共存共栄関係 → 第2次階級社会(所得格差社会) 生活者 }</p> <p>消費先 = 中産階級 + エリート + 国際貿易</p> <p>モダン消費 = モノを買い・消費し・所有し・利用することの連続性が幸せ感</p> <p>人間の移動 = 地方から都会へ、都心から郊外へ、そして郊外に定着</p> <p>交通(移動手段) = 自動車(広域かつパーソナルな交通手段)</p> <p>負(マイナス)効果 = 社会環境の破壊 + 勝ち組負け組競争 + バブル経済の繰り返し</p>
21 世紀 経済	文化革命 (情報技術革命)	<p>< 第3次資本主義 (脱・資本主義) ></p> <p>情報革命(大量情報システム) → ユビキタスシステム(IT→ネットワークシステム)</p> <p>文化人 } 共生関係 → 第3次階級社会(知力格差社会) クリエイター }</p> <p>消費先 = モノ離れた消費者 + 価値志向の消費者 + コミュニティ&コミュニケーション志向の消費者</p> <p>ポストモダン消費 = モノ離れ消費 + アンチテーゼ・ノスタルジー消費 + 文化・創造的消費</p> <p>人間の移動はなし → 人口の定着・都心回帰・住民志向</p> <p>交通(移動手段) = エコカー(パーソナル) + 大量交通手段(パブリック)</p> <p>負(マイナス)効果 = 社会保障費の増大 + 生産性の低下</p>

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代 表 六 車^{むぐるま} 秀 之